

議員提出議案第13号

アメリカ合衆国軍普天間飛行場問題の解決を求める意見書

沖縄県民に多大な犠牲を強いてきたアメリカ合衆国軍普天間飛行場は、同県宜野湾市の中心部に位置し、全市面積の約25パーセントを占めています。

その周辺には民間住宅や学校が密集し、世界一危険な軍飛行場といわれています。

同時に、普天間飛行場は、市の発展の最大の阻害要因となっていることから、同飛行場の返還は、沖縄県民の強い声となっており、最近行われた世論調査においても、7割近くの沖縄県民が、基地の撤去を求めています。

よって、政府におかれては、日本国民、特に沖縄県民の強固な意志を汲み入れ、普天間飛行場問題の解決のために、アメリカ合衆国政府との協議を真摯に、時を移すことなく進めるよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年12月18日提出

提出者	さいたま市議会議員	青羽健仁
	同	神崎功
	同	高橋勝頼
	同	山崎章
	同	松本敏雄
賛成者	さいたま市議会議員	萩原章弘
	同	高柳俊哉
	同	輿水恵一
	同	神田義行
	同	関根隆俊
	同	長谷川浄意